

平成30年

# 緑の学び舎

ニュースレター



特集

## 緑の校庭を次の世代に伝えていくために ～10年の経験から学ぶ維持管理と継続の処方箋～

- 技術支援事業
- 東京都補助金制度
- 出前芝生
- 校庭芝生の親方・匠
- あっぱれ！親方・匠



東京都

# 「出前芝生」体験校を募集中！

芝生の良さや維持管理を体験してもらうため、芝生化未実施校に対し、天然芝 100m<sup>2</sup>～150m<sup>2</sup> を貸し出します。運動会等の行事に合わせて、芝生の良さを体感できるお試し用の芝生を育ててみませんか。



## 東京都補助金制度の御案内

東京都は、芝生化、屋上緑化及び壁面緑化に必要な費用を補助します。

### 校庭芝生化補助

対象経費の 1/2 を補助します。なお、芝生の維持管理を地域協働で行う場合は、補助対象経費の全額を補助します。

公立小学校・中学校  
義務教育学校・特別支援学校

250m<sup>2</sup> 以上の  
芝生化が補助対象

※ 一定の要件を満たせば 100m<sup>2</sup> 以上も対象（校庭面積が小さい、芝の生育が難しい場合など）

公立幼稚園

50m<sup>2</sup> 以上の芝生化が補助対象  
駐車スペース 4 台分程度です。

面積の拡張

最初の事業補助の翌年度から  
3年以内

### 屋上緑化・壁面緑化補助

屋上緑化・壁面緑化の実施について必要な経費を補助します。

屋上緑化  
したい

補助対象経費の全額を補助します。  
（上限は 1m<sup>2</sup> 当たり 52,000 円）

壁面緑化  
したい

補助対象経費の全額を補助します。  
（上限は 1m<sup>2</sup> 当たり 27,000 円）

### 芝生化維持管理経費補助

専門的維持管理作業を実施する場合に、対象経費の 1/2 を補助します。

## 校庭芝生化地域連携事業の御案内

芝生の維持管理や芝生を活用した文化・スポーツ活動を支援します。

### ◎ 地域連携事業とは？

子供や保護者、学校が地域の人々と共に、芝生の維持管理や芝生を活用した多様な文化・スポーツ活動を行うことによって、子供が健やかに成長できる、活気ある地域コミュニティを作れるように支援する事業です。

### ◎ 事業の内容は？

公立小中学校を対象として 1 校当たり 30 万円を上限に支援します。

#### ● 申込みの条件

- ① 学校と地域からなる「校庭芝生化推進協議会」の設置
- ② 校庭芝生を活用した文化活動などのコーディネートを行うグリーンリーダーの配置

### ◎ どのような活動に費用を使えますか？

#### 維持管理活動

芝刈り、種まき・肥料まき、ポット苗補植など

- ・肥料など消耗品の購入
- ・軍手など用具の購入
- ・維持管理の講習会の材料費など



#### スポーツ活動

タグラグビー、校庭キャンプなど

- ・ゼッケン、グローブの購入など



#### 文化活動

コンサート、野外映画会など

- ・イベント用機材レンタル代など



#### 推進協議会の運営

- ・協議会委員や指導者への謝礼
- ・広報誌の印刷など



緑の学び舎づくり事業について  
詳しい内容を知りたい方は…

東京都教育庁地域支援部義務教育課  
校庭芝生化推進担当

TEL. 03-5388-3567

# 緑の校庭を次の世代に伝えていくために

## ～10年の経験から学ぶ維持管理と継続の処方箋～

### 練馬区立中村小学校

児童数：1,007名（平成30年5月1日現在）  
芝生化面積：3,196m<sup>2</sup>  
芝生が完成した時期：平成17年度

#### 学校と保護者と地域をつなぐ芝生のネットワーク

練馬区立中村小学校  
井上 靖 校長



#### この10年を振り返って

芝生化立ち上げの際の中村小グリーンキーパーズ（NGK）に始まり、芝生協力委員会を経て、PTAの環境委員会を中心とした現在の維持管理体制が出来上がりました。これには、全校児童とその保護者が参加します。さらに校庭を使う地域の方々も加わり、よそではあまり見られない、芝生を中心とした全員参加型のネットワークがこの10年を支えてきたと言えるでしょう。



#### 中村小ならではの活動は？

芝生を活用した夏休みの校庭キャンプです。10回目を迎えた昨年は、約100組、300名を超える参加がありました。昼間は防災訓練も兼ねた体験型学習の場であり、夜はみんなで食事を作ったり親子で芝生に寝転がって夜空を見上げるなど、芝生ならではのコミュニケーションが生まれる場でもあります。また、このイベントを通じて芝生に興味を持った保護者の方々が、休日の芝刈り活動に参加してくれることもあります。このような、芝生によって生まれた親密なコミュニティが中村小の特長の一つです。



#### これからの展望

芝生はきちんと面倒をみれば維持できます。それをみんなで作っていくことが大事なことです。大人が一生懸命手入れをしているのを見て、子供たちにも芝生を大切にしようという意識が当然芽生えます。卒業しても家族や友達の間で芝生が話題に上ることも多いので、地域をつなぐネットワークとして、この関係がこれからも長く続いて行くことを願っています。



### 小平市立小平第十三小学校

児童数：381名（平成30年5月1日現在）  
芝生化面積：2,291m<sup>2</sup>  
芝生が完成した時期：平成17年度

#### 週3回の芝刈りで手の掛からない強い芝生が生まれました

小平市立小平第十三小学校  
早川 和男 校長



#### この10年を振り返って

着工したのが平成17年の夏ですが、当時は芝生化している学校が少なく、周囲の理解を得るのも大変だったそうです。おかげさまで、ここ数年は補植などを行う必要がなくなり、芝生はしっかりと根付いています。子供たちにとっては裸足で走り回ったりごろごろ寝転んだりすることが普通になっており、擦り傷などのけがもほとんどなくなりました。



#### 維持管理のコツは？

サポーターの方たちが週3回行っている芝刈りです。芝生は刈ることで成長ホルモンが促され密度が高まって強くなります。さらに、密度が高まると草の種が飛んできて地面に落ちないので発芽しない、だから雑草が生えにくくなります。これが、十三小特有の強い芝生の秘密であり、一番の特長です。



#### 今後の課題について

裸足で行う運動会や体育の授業、休み時間とフルに芝生を利用していますが、芝生の状態が安定したことで、子供たちが維持管理に携わる機会が少なくなってしまったという、ざいたくな悩みがあります。本校では以前、子供たちが育てたポット苗を芝生化とは関係のない中庭に植えたところ、その中庭がきれいな芝生に生まれ変わったことがあります。そのような独自の取組ができれば良いですし、サポーターの方の活動を将来に渡って引き継いでいけるような組織の充実が大切だと考えています。



## 技術支援事業

東京都教育委員会では、校庭芝生化に取り組む学校に技術的なサポートを行っています。「維持管理の仕方が分からない」「最近芝生に元気がない」などお困りのことがありましたらお気軽に御連絡ください。



#### 相談受付

計画段階のお悩みから芝生化後の維持管理まで、校庭芝生についての相談をお電話で受け付けます。



#### 専門家の派遣

芝生の専門家を学校に派遣し、各校の状況に応じた助言等を行います。



#### 実地講習会の実施

学校やボランティアの方向けに、芝生の維持管理に関する講習会を開催します。



#### 栗芝さんに聞いてみよう！

株式会社 栗芝  
いちじょう よしかた  
一條 良賢 さん



今年度、東京都の技術支援事業を受託した、株式会社 栗芝です。芝生でお悩みのことがあれば、お気軽に御相談ください。全力でサポートいたします。

芝生に関する相談・悩み事、何でも受け付けています。

お問い合わせ TEL. 03-5903-5333

#### 支援制度について

東京都の技術支援事業を御存じの学校は、毎年のようにこの制度を利用して芝生の維持管理に役立てていらっしゃると思います。まだ利用されたことのない学校は、御相談いただければ手続の方法や制度のメリットなどを詳しく御説明します。

#### 相談内容について

一番多いのは、芝生の育ちがあまり良くないとか、擦り切れてしまったのでどうしたら良いかといった相談です。これは、実際に芝生を見ないと詳しいことが分からない場合が多いので、専門家を派遣しその学校の環境や芝の状態を見極めた上で、最も効果的な対処法をアドバイスします。

将来的には、自分たちで必要な処置を見越して計画を立案し、自立した維持管理へと移行していただくことが支援業務の狙いでもあります。もちろん、基本的な芝刈りや水撒きのことなど、何でもお気軽に御相談ください。

#### 今後の取組について

学校や保護者の方の負担を減らすような工夫を心掛けていますが、維持管理のことを考えると芝生化をためられる場合も多いと思います。楽しくやれる効率的な維持管理の方法や、できるだけ多くの人に関わり一人の負担が小さくなるような組織作りなど、これまでの経験から得られたノウハウを皆さんと共有して、緑の芝生に覆われた校庭が増えていくことを願っています。



認証式と交流会を開催しました。

平成  
29年度

# 校庭芝生の親方・匠

校庭芝生の親方・匠とは？

東京都教育委員会は、校庭芝生の維持管理に継続的に取り組み、多大な貢献をされた方で、体制の構築や取りまとめに尽力された方を「親方」、技術的な指導に尽力された方を「匠」として認証しています。

平成29年度で6回目となる認証式では、各校の教員や維持管理団体のリーダーを中心に、「親方」が6名、「匠」が7名認証されました。維持管理活動に携わる頼もしい先達として、ますますの御活躍を期待しています。

認証式に引き続き、「親方・匠」の方々の交流会を開催しました。冒頭、足立区立中島根小学校と西東京市立田無第二中学校の「親方・匠」の方々から、芝生を活用した取組などについて発表がありました。後半は、歴代の「親方・匠」認証者をお交え、各校で日々工夫していることや課題について意見を交換しました。参加者にとって貴重な情報交換の場となり、今後の維持管理に携わる上でのスキルアップにつながる会となりました。



## 認証者の皆さん

親方

深川 賢一

板橋区立蓮根第二小学校  
「芝生見守り隊」一員

渡辺 好造

町田市立小中一貫ゆくのき学園  
(大戸小学校・武蔵岡中学校)  
副校長

渡邊 宗晴

昭島市立武蔵野小学校  
PTA 会長

山上 真哉

国立市立国立第一中学校  
副校長

神田 國男

町田市立藤の台小学校  
副校長

藤井 和重

西東京市立田無第二中学校  
副校長

匠

高木 哲朗

荒川区立南千住第二幼稚園  
技能長

庄司 勝光

荒川区立第四峡田小学校  
技能主任

横山 哲嗣

足立区立中島根小学校  
「緑を育む会」一員

小川 孝裕

調布市立第二小学校  
副校長

伊藤 規義

町田市立藤の台小学校  
主幹教諭

尾林 義春

西東京市立谷戸小学校  
技能長

原田 初男

瑞穂町立瑞穂第五小学校  
学校用務員

※ 所属及び役職は、認証当時のものです。

あっぱれ!

## 親方・匠



国立市立国立第一中学校  
山上 真哉 校長



モットーは「芝生が枯れたら自分も枯れる！」

今回は、平成29年度に親方に認証された、国立市立国立第一中学校の山上真哉校長先生をお訪ねしました。

### ●芝生とともに成長した7年間

「私が副校長として着任した平成24年の6月に芝生化の工事が始まったんですよ。」とおっしゃる山上先生。当初は何もかも手探り状態だったそうですが、初めて受けた講習で「管理職が興味を持たなかったら芝生はダメになりますよ。」という言葉聞いて、自分がやらないと、という思いを強くされたそうです。

成長の早い冬芝との格闘や日光を遮る銀杏並木の問題などをクリアして、今、緑の芝生が7年目を迎えています。「おかげさまで、休み時間でもほとんど外に出なかった子供たちが、今では外に出て芝生の上で色々な遊びをやってます。」と嬉しそうに話してくださいました。さらに芝生化の効果として、学校全体でスポーツテストの得点が伸びたことに加え、昨年度は生徒の体力向上に向けた取組が認められ、都から表彰を受けました。これは、先生方にとって本当に嬉しい驚きだったそうです。

### ●授業や保護者会などに大活躍

芝生の活用を促すために、木陰になる芝生の上にウッドデッキ

キが置かれています。国語の授業で詩を読んだり、一面にマットを敷いて体育の授業をやったりと、芝生はこの学校の生活にしっかりと根付いています。保護者の方も教室での保護者会の続きを芝生の上で、ということもあるそうです。

### ●むやみに規制しないことで豊かな関係を育む

「夢はグラウンド全体を一面の緑の芝生にすることですが、それはなかなか難しいので、とにかく枯らさないで芝生を維持することが自分の使命。」とおっしゃる山上先生。PTAの芝生委員会、地域の育成会、学校の経営支援部という三者が一体となって芝生の緑が続くように頑張りたいとのこと。子供たちには芝生を自由に活用してもらい、親方を中心とした学校・地域全体でそれを見守り支えるという、芝生を中心とした豊かな関係を築いていました。



東京都教育委員会 [緑の学び舎づくり事業]

東京都新宿区西新宿二丁目8番1号 〒163-8001 都庁第一本庁舎北側 40階  
東京都教育庁地域教育支援部義務教育課  
TEL (03) 5388-3567 FAX (03) 5388-1734  
東京都教育委員会印刷物登録 平成30年度 第56号

R70  
古紙ハルバ配合率70%再生紙を使用

リサイクル適性(A)  
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。